

【復活のトロパリ 第8調】

めぐみふかきしゅよ、なんぢはたかきより
恵深主爾高
くだり、みつかのほうむりをうけて、
降三日葬受
われらをくるしみよりときたまえり、
我等苦釋給
わがいのちとふくかつなるしゅよ、こう
我生命復活主
えいはなんぢにきす。
榮爾歸

【日本の亞使徒聖ニコライのトロパリ 第4調】

しととひとしくどうざなるもの、ちゅう忠
使徒等同座者
じつにしてしんちなるハリストスのえきしゃ、せい聖
實神智役者
なるしんにえらばれたるふえ、ハリストスのあい愛
神撰
にみちたるうつわ、わがくにのこう
満器
しょうしや者、あしとしゅきょうせいいニコライ
照
よ、なんぢのぼくぐんのた爲
爾羊群爲

ぜんせかいのために、いのち命をたまえ。
全世界爲めに、いのち命をたまえ。
さんしやにいのりたまえ。
全聖爲めに、いのち命をたまえ。
三者祈給。

【日本の聖ニコライのコンダク 第4調】

こうえいはちとこ子とせせいしんにき歸す。
光榮父子と聖神に歸す。
せいせいしやあしとせいニコライよ、わが我成聖者亞使徒聖。
くになんぢをたびびとおよびいほうじんとうけ國爾旅人及異邦人受。
しに、なんぢははじめわがくににおいておの爾初我國に於。
れをがいらいしやとしりたれども、ハリストスの外來者知。
ひかりとあたたかきをながし、なんぢのて爾光暖流。
きをぞくしんのことな爲し、かれらにか神屬神子爲。
みのおんちょうをあたえ、ハリストスのきょうかいをたて恩寵與教會建。

た り 、 い ま こ の き ょ う か い の た め に い の り
 今 此 教 會 為 祈

た ま え 、 け だ し わ れ ら そ の し ょ し は なん
 給 蓋 我 等 其 諸 子 爾

ち に よ ぶ 、 わ が よ き ぼ く し ゃ よ 、 よ ろ こ
 呼 我 善 牧 者 慶

ベ よ 。

【復活のコンダク 第8調】

い ま も い つ も よ よ に 、 ア ミ ン。
 今 何 時 世 世

だ い じ ん じ な る し ゆ よ 、 なん ち は は か よ り ふ く
 大 仁 慈 主 爾 墓 復

か つ し て 、 し せ し も の を お こ し 、
 活 死 者 興

ア ダ ム を ふ く か つ せ し め た ま え り 。 エ ヴ ア は
 復 活 給

なん ち の ふ く か つ を た の し み 、 せ か い の は 極
 爾 復 活 樂 世 界

て は なん ち が し よ り お き た る を い わ う 。
 爾 死 興 祝

司祭) (默誦: 聖なる神、聖者の中に息い、セラフィムより聖三の聲を以て歌頌せられ、
 ヘルヴィイムより讃榮せられ、悉くの天軍より伏拜せられ、萬物を無より有

ひと なんぢ ぞう しょう よ つく なんぢ もろもろ たまもの もつ これ かざ
 となし、人を爾の像と肖とに依りて造り、爾が諸の賜を以て之を飾
 ねが もの ちえ めいご あた つみ おこな もの す そのすくい ため
 り、願う者に智慧と明悟とを與え、罪を行う者を棄てずして、其救の爲に
 つうかい た われらいや ふとう なんぢ しょぼく こ とき おい なんぢ
 痛悔を立て、我等卑しくして不當なる爾の諸僕を、此の時に於ても、爾が
 せい さいだん こうえい まえ た なんぢ とうぜん ふくはいさんえい たてまつ た
 聖なる祭壇の光榮の前に立ちて、爾に當然の伏拜讚榮を奉るに堪うる
 もの しゅさい なんぢみづか われらざいにん くち せいさん うた う なんぢ
 者となしし主宰よ、爾親ら我等罪人の口よりも聖三の歌を受け、爾の
 じんじ もつ われら のぞ われら およ じゅう じゅう つみ ゆる わ たましい
 仁慈を以て我等に臨み、我等に凡そ自由と自由ならざる罪を赦し、我が靈
 からだ せい われら しょうがいぜんこう もつ なんぢ つと え たま せい
 と體とを聖にし、我等に生涯善功を以て爾に務むるを得せしめ給え、聖
 なる生神女と古世より爾の喜を爲しし諸聖人との祈禱に依りてなり、
 司祭) 蓋我が神よ、爾は聖なり、我等光榮を爾父と子と聖神に献ず、今も何時も世世
 に、



【聖三祝文】

せいなる神み、せいなるゆうき、せいなる
 聖
 じょうせいのものよ、われら等をあわれめ
 常生者
 よ。せいなる神み、せいなるゆうき、せい
 聖
 なるじょうせいのものよ、われら等をあわれ
 常生者
 めよ。せいなる神み、せいなるゆうき、

せいなるじょうせいのものよ、われら等をあわ
 聖常生者我等をあわ憐

れめよ。こうえいはちちとことせいしん神
 光榮父子聖神

にきす、いまもいつもよよに、アミン。
 归今何時世世

せいなるじょうせいのものよ、われら等をあわ
 聖常生者我等をあわ憐

れめよ。せいなるかみ、せいなるゆう勇
 聖神聖勇

き毅、せいなるじょうせいのものよ、われら等を
 聖常生者我等を

あわれめよ。

あわれめよ。

司祭) 黙誦: 主の名に依りて來たる者は崇め讃めらる、ヘルヴィムに座する者よ、爾は其國
 の光榮の寶座に在りて恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に、)

【 プロキメン
 提綱 主日第8調 】

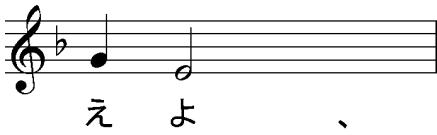
司祭) つつしきみて聽くべし、衆人に平安、

誦經) 爾の神にも、

司祭) えいち
 睿智、

誦經) プロキメン、主爾等の神に誓を作して償えよ、

しゅなんぢらのかみにちかいなつぐの
 主爾等の神に誓かいを作なしてつぐの
 償



誦經) 神はイウデヤに知られ、其名はイズライリに大なり、

Musical notation for the first part of the hymn. It includes lyrics in Japanese: 'しゅなんぢらのかみにちかいをな作してつぐの償'. The notation consists of a treble clef, a key signature of one flat, and three measures of music.

誦經) 主爾等の神に

Musical notation for the second part of the hymn. It includes lyrics: 'ちかいをな作してつぐのえよ'. The notation consists of a treble clef, a key signature of one flat, and three measures of music.

【アポストロス
使徒經 224 端 エフェス書4章1節～6節】

司祭) えいち
睿智、

誦經) 聖使徒パヴエルがエフェス人に達する書の讀、

司祭) つつしき
謹みて聽くべし、

誦經) 兄弟よ、我、主の爲に囚たる者は、爾等に求む、爾等が召されたる召に稱いて
おこな行え、凡の謙遜と溫柔と恒忍とを以て、愛に因りて互に恕せよ、務めて和平の
つなぎを以て、神の一なるを守れ。體は一、神は一、爾等が召されたる召の望の一な
るが如し、主は一、信は一、洗禮は一、神萬衆の父は一なり、彼は萬有の上に在
り、萬有を貫き、我等萬人の中に在り。

(比較用 口語訳) 兄弟たちよ。主にある囚人であるわたしは、あなたがたに勧める。あなたがたが召されたその召しにふさわしく歩き、できる限り謙虚で、かつ柔軟であり、寛容を示し、愛をもって互に忍びあい、平和のきずなで結ばれて、聖霊による一致を守り続けるように努めなさい。からだは一つ、御霊も一つである。あなたがたが召されたのは、一つの望みを目指して召されたのと同様である。主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ。すべてのもののにあり、すべてのものを貫き、すべてのもの内にいます、すべてのものの父なる神は一つである。

【 アリルイヤ 主日第8調 】

司祭) なんぢ 爾に平安、

誦經) なんぢ 爾の神にも、

司祭) 睿智、

誦經) アリルイヤ、

A musical score for the hymn 'Arikyah'. It consists of two staves of music in G clef, common time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below the notes. The first staff contains the lyrics 'アリル イ ャ 、 アリル イ ャ 、' and the second staff contains 'ア リル イ ャ 。' The music features eighth and sixteenth note patterns.

誦經) きて しゆ うた かみわ すくい かため よ
來りて 主に歌い、 神我が 救 の防固に呼ばん、

A musical score for the hymn 'Arikyah'. It consists of two staves of music in G clef, common time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below the notes. The first staff contains the lyrics 'アリル イ ャ 、 アリル イ ャ 、' and the second staff contains 'ア リル イ ャ 。' The music features eighth and sixteenth note patterns.

誦經) さんよう もつ そのかんばせ まえ すす うた もつ かれ よ
讃揚を以て其顔の前に進み、 歌を以て彼に呼ばん、

A musical score for the hymn 'Arikyah'. It consists of two staves of music in G clef, common time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below the notes. The first staff contains the lyrics 'アリル イ ャ 、 アリル イ ャ 、' and the second staff contains 'ア リル イ ャ 。' The music features eighth and sixteenth note patterns.

司祭) (黙誦: ひと あい しゅさい わ こころ かみ し ちえ いさぎよ ひかり かがや わ しねん
人を愛する主宰よ、 我が心に神を知る智慧の淨き光を輝かし、 我が思念

め ひら なんぢ ふくいん おしえ さと たま わ うち なんぢ ふく いましめ おそ
の目を啓きて、 爾が福音の教を悟らしめ給え、 我が衷に爾の福たる誠を畏るる

それ い われら ことごと にくたい よく ふ およ なんぢ よろこ ところ おも か おこな
畏をも入れて、 我等が悉くの肉體の慾を踏み、 凡そ爾の喜ぶ所を思い且つ行

いて、 屬神の生活を過ぐるを致させ給え、 蓋ハリストス神よ、 爾は我が靈と體

との光耀なり、我等爾と爾の無原の父と至聖至善にして生命を施す爾の神とに

光榮を獻ず、今も何時も世世に、アミン。)

【 エヴァンゲリオン 福音經 ルカ福音書 66 端 12 章 16~21 節 】

司祭) えいち つしひたせいふくいんけいきしゅうじん へいあん
睿智、肅みて立て聖福音經を聽くべし、衆人に平安、



司祭) ルカ傳の聖福音經の讀、



司祭) つつしき謹みて聽くべし、主は左の壇を設けて曰えり、或富める人に田舎の善く實れるあり、

かれみづか はか い われなに な けだしわ さくもつ おさ ところ またい
彼 自 ら付りて曰えり、我 何 を爲さんか、蓋 我が作 物 を藏むべき 處 なし。又 曰えり、

われかくな爲さん、わくらこぼさらおおいものた。こうちわことごとくもつ
我斯く爲さん、我が倉を毀ちて、更に大なる者を建て、此の中に我が悉くの穀物と

たから あつ わ たましい い たましい なんち たねん ため たくわ おお たから
貨物とを聚めて、我が 靈に謂わん、 靈よ、爾には多年の爲に蓄えたる多くの貨物

あり、やすくらのたのししかかみかれいむちものこんやなんぢあり、息み、食い、飲み、樂めと。然れども神は彼に謂えり、無知なる者よ、今夜爾の

たましい なんぢ もと しか なんぢ そな ところ もの だれ き およ おのれ ため
靈を爾より素めん、然らば爾が備えし所の者は誰に歸せんか。凡そ己の爲に

たから 財を積み、神に於て富まさる者は是くの如し。

(比較用 口語訳) イエスは一つの譬を語られた、「ある金持の畠が豊作であった。そこで彼は心の中で、『どうしようか、わたしの作物をしまっておく所がないのだが』と思ひめぐらして言った、『こうしよう。わたしの倉を取りこわし、もっと大きいのを建てて、そこに穀物や食糧を全部しまい込もう。そして自分の魂に言おう。たましいよ、おまえには長年分の食糧がたくさんくわえてある。さあ安心せよ、食え、飲め、楽しめ』。すると神が彼に言われた、『愚かな者よ、あなたの魂は今夜のうちに取り去られるであろう。そしたら、あなたが用意した物は、だれのものになるのか』。自分のために宝を積んで神に対して富まない者は、これと同じである」。

しゅよ、こうえいはなんぢにき歸し、こうえい
主光榮爾
はなんぢにき歸す。

※ 聖体礼儀③（金口イオアン）へ